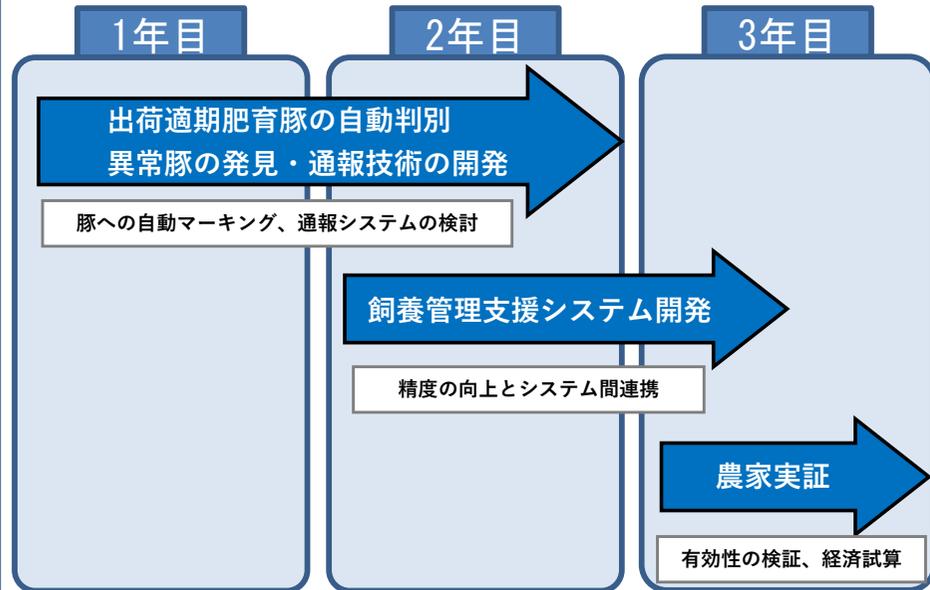


背景・目的

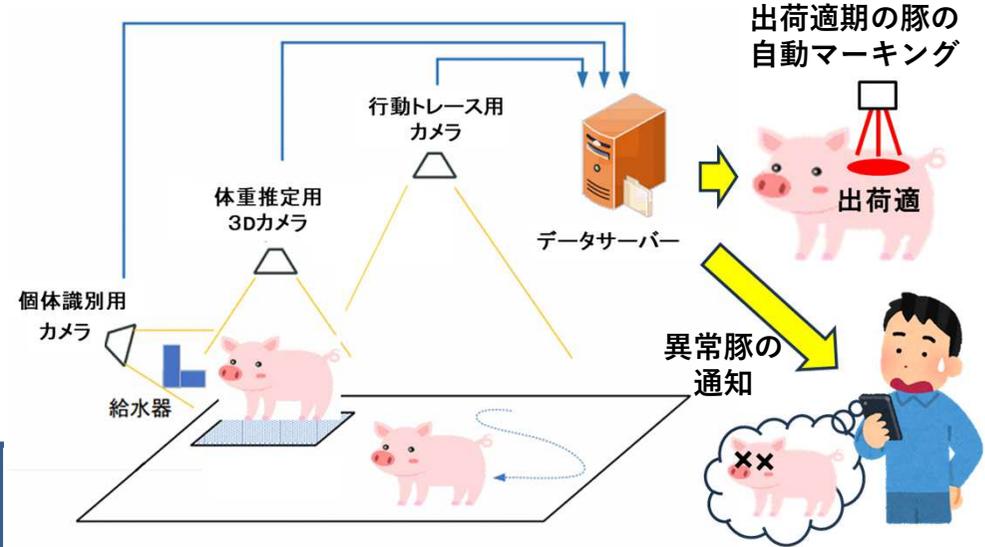
- 肥育豚は適正体重での出荷が収益向上に重要であるが、労力的負担が大きいので、体重管理を行わない農家が多い。また、多頭飼育では疾病等の異常豚の早期発見が難しい。
- 当センターでは、ICTやAI技術を活用し、豚の顔画像による個体識別と3D画像による体重推定技術を確認し、動画による行動トレース技術の開発も進めている。
- しかし、現状では体重や行動データをPC等で個別に確認できるものの、出荷豚の特定や異常豚の判断は農家が行う必要がある。
- そこで、**適正体重に達した豚の自動マーキング技術、異常豚の発見・通報技術**を開発し、これまで開発した技術と連携統合した**飼養管理支援システムを開発**する。

研究内容



R5～7

R8～



期待される効果

- 体重測定・健康観察などの省力化
- 適正体重での出荷による収益の向上
- 疾病兆候のある豚の早期発見・早期対応
- 豚のストレス軽減による動物福祉の向上